



かわち 議会だより

発行／平成27年9月1日

発行/河内町議会 編集/河内町議会広報委員会
〒300-1392 茨城県稲敷郡河内町源清田1183
TEL 0297-84-2111 FAX 0297-84-4357
URL <http://www.town.ibaraki-kawachi.lg.jp/gikai/index.html>



7月24日 生涯学習G主催 ポニースクール

第39号

平成27年第2回定例会(6月)

内容

議案の審議結果
一般質問
行政視察研修報告
議会議長及び議員の主な動向

平成27年 第2回河内町議会定例会

〈平成27年第2回定例会の概要〉

6月4日から6月10日までの7日間の会期で開かれた今期定例会において、専決処分の承認を求める報告、土地開発公社事業決算及び清算結了の報告、繰越明許費繰越計算書等の報告3件、条例の整備及び一部改正3件、補正予算2件、水道事業会計未処分利益剰余金の処分について、固定資産評価審査委員の選任についての計12件が審議されました。また、一般質問では、3名の議員が町政について質問しました。

通次繰越をしたので、継続費繰越計算書の報告をするもの。

平成26年度河内町下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について

「公共下水道建設事業13、108千円」及び「流域下水道整備事業811千円」について、繰越明許費繰越計算書の報告をするもの。

〈条例〉

河内町土地開発公社の解散に伴う関係条例の整備に関する条例 **〔可決〕**

土地開発公社の解散に伴い関係条例を整備するもので、河内町職員の職務に専念する義務の特例に関する条例等に規定される職員の処遇等について改正するもの。

河内町特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 **〔可決〕**

平成26年度河内町一般会計繰越明許費繰越計算書について

社会保障・税番号制度関連システム改修業務外8件の事業費にかかる繰越明許費について報告をするもの。

平成26年度河内町一般会計継続費繰越計算書について

公有財産及び固定資産台帳整備にかかる継続費について、

の給付事業経費3、170千円を計上するもので、地方自治法第179条第1項の規定により平成27年5月1日付けで専決処分したものを。

平成26年度河内町土地開発公社事業決算及び清算結了について

地方自治法第243条の3第2項の規定により報告をするもの。

〈報告〉

議案の内容と結果

平成27年度河内町一般会計補正予算(第2号)について **〔承認〕**

予算総額に3、170千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ4、583、576千円とするもの。
子育て世帯臨時福祉給付金

河内町立学校統合準備委員会並びに河内町まち・ひと・しごと創生有識者会議を設置することに伴い改正するもの。

河内町介護保険条例の一部を改正する条例 **〔可決〕**

介護保険法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、改正するもの。

〈予算〉

平成26年度河内町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について **〔可決〕**

水道事業会計未処分利益剰余金について、建設改良積立金に積み立てるため、地方公営企業法第32条第2項の規定により議決を求めるもの。

平成27年度河内町一般会計補正予算(第3号) **〔可決〕**

歳入歳出予算の総額に21、795千円を追加し、歳入

歳出予算の総額をそれぞれ4、605、371千円とするもの。

平成27年度河内町介護保険特別会計補正予算(第1号) **〔可決〕**

歳入歳出予算の総額に332千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ932、948千円とするもの。

〈固定資産評価審査委員会委員の選任〉

現委員の 青野 功氏 (河内町金江津4199番地) が平成27年6月23日で任期満了となるため、引き続き同氏の選任に同意しました。



一般質問

要旨をまとめたものです。詳しくはホームページをご覧ください。

星野 初英 議員

マイナンバー制度について

〈質問〉

国が進める「マイナンバー制度」導入についての現在の準備状況と導入に伴う課題と対応について

〈答 弁〉 総務課長

今年度は、社会保障分野で関係するシステムの洗い出し作業とシステム改修を進めている。一番の課題は情報の管理であり、国では身分証がわりに使える個人番号カードに写真とICチップを入れ、本人確認がしやすく、個人情報照会などは行政機関に限定するなどの対策をしている。町では、制度の導入にあわせ関係条例の整備を行うとともに引き続き情報セキュリティ

〈質問〉

マイナンバー制度の導入準備及び推進には、業務、制度、システムを総合的に統括する部署の設置が望まれると考えるが、制度導入を契機とした業務や組織の見直しの必要性について

〈答 弁〉 総務課長

今後、利用範囲がどこまで広がるか、まだはつきりしていない。関係する担当部署では業務量が一時的に増えることも予想されるが、その事務量や継続性など不透明である。現在の町の規模、人口や職員数、業務全般を考慮すると組織の見直しなどの必要性は低いと思われる。

〈質 問〉
 成立したマイナンバー法では、この機会に自治体クラウドを促進する条項が盛り込まれているが、その対応について

〈答 弁〉 企画財務課長

現在、ハードウェア等は原則、庁舎内には設置せず、ベンダー側等で用意する外部データセンターに設置し、他市町村と共同利用により経費の削減及び住民サービスの向上を図っており、今後も同様に考えている。

マイナンバーとは？

国民一人ひとりが持つ12桁の個人番号のことです。



マイナンバーキャラクター
マイナちゃん

〈質 問〉

住民基本カード、又はマイナンバーカードを利用して、コンビニでも住民票、印鑑証明がとれるようにできないか。

〈答 弁〉 町民課長

コンビニ交付サービスに参



水と緑のふれあい公園

〈質 問〉

道路の清掃美化を地域住民団体と共同して行うボランティアサポート事業として、道路の清掃・除草・花壇の手入れなどを自治体にかわって行う道路里親制度について、町の現状を伺いたい。

〈答 弁〉 都市整備課長

現在、町においては、制度は制定していない。国・県道が対象となるが茨城県が実施している道路里親制度には登録可能である。

〈質 問〉

この道路里親制度を制定し、

加するには、今あるシステムの改修費、サーバーの構築費約2,000万円、証明書交付センターの接続費は毎年100万円の経費が必要となる。当町では、予約による土・日の住民票、印鑑証明書の交付を行っているがH25年度で41件、H26年度で27件と需要はそれほど多くない。この実績を踏まえ、費用対効果の面を考慮し慎重に検討して行きたい。

AEDについて

〈質 問〉

24時間使用可能な屋外型収納ボックスの設置について

〈答 弁〉 総務課長

町では、役場や小中学校などの公共施設12カ所と昨年は町内にある4店舗のコンビニにAEDを設置した。24時間使用可能なのはコンビニの4店舗である。昨年は防犯上、屋外設置は難しいということであったが、最近では公共施設でも24時間使用可能な屋外型収納ボックスを設置してい

町が働きかけをして団体が結成できれば、町民の美化意識の向上、または地域の連帯感が生まれ、費用負担の軽減も図れるのではないかと考えるかどうか。

〈答 弁〉 都市整備課長

今後、町道の景観や管理をお手伝いしていただける団体等があれば、制度の制定についても検討して行きたい。

牧山 龍雄 議員

商工業振興の取り組みと育成について

〈質 問〉

町商工会への補助金400万円の経緯と内容について聞きたい。

〈答 弁〉 経済課長

商工会の事業運営に関する補助ということで、町内商工業者の育成指導、経済の活性化及び地域振興を目的とした各種事業等について補助を行う、町の商工業の振興を図るということに交付されている。

る事例がある。今後、使用環境条件温度が維持できるもの、また防犯機能を備えたものなど公共施設の管理体制や予算的なことなど考慮して、施設管理担当課と相談しながら検討して行きたい。



屋外型AED収納ボックス

野澤 良治 議員

環境美化対策について

〈質 問〉

現在、町の環境美化に対する予算及び事業内容について聞きたい。

〈答 弁〉 都市整備課長

26年度の実績では、長竿パイパス法面除草費3回で250万円、桜・アジサイ並木の剪定、病害虫駆除、施肥で約66万円、合計で年間約320

〈質 問〉

町の活性化に向けて、今考えている取り組みについて聞きたい。

〈答 弁〉 経済課長

商工業の育成は、町と商工会が緊密に連携し施策を行うていくことが重要である。昨年度から始まったプレミアム商品券の発行事業も、今年度は購入金額 1万円で20%を上乗せし、1万2千円の利用ができることとした。町民1人が1セット購入できる期間を設け、7月から販売を予定している。町内の加盟店は昨年よりも増えることを予想しており、前回以上に町内での消費活動を促すことができる」と期待している。



かわちプレミアム商品券

万円が長竿パイパスの環境美化にかかる費用である。



長竿パイパス

〈質 問〉

町が行っている町道及び公園等の除草作業について、具体的な地区若しくは路線名、事業費について聞きたい。

〈答 弁〉 都市整備課長

主に通学路・幹線道路の見通しが悪い交差点、町管理の道路敷などの除草に約41万円、金江津の大排水路沿いの除草に約46万円、利根川堤防専用道路の除草に年3回で約300万円、水と緑のふれあい公園の除草・清掃・植栽管理に約280万円、合計年間約667万円が道路・公園等の除草及び管理費用となる。

また、商工会との連携では、中小企業の金融制度で自治金融と振興金融という資金融資の制度がある。26年度は1億2千万円と24年度の約5倍となり、地域の資金需要の回復傾向がうかがえる。今後も資金のあっせん及び信用保証料の補助等により、地域経済の資金需要に適切に対応して行きたい。

〈質 問〉

商工業発展のための基本方針について、どう考えているか。

〈答 弁〉 経済課長

現在の第4次総合計画は、平成19年度から28年度までの10年間が対象年度であるが、商工業、また農業も含めて、様々な諸課題がある。今後第5次総合計画を策定するにあたり、企画財務課と協議しながら適切に課題とその対応について反映をさせていきたい。また、六次産業化についても現行の課題であると考えている。

長野県小川村・小布施町 行政視察研修報告

平成27年7月16日から18日の3日間の日程で河内町議会、長野県小川村にある小川の庄並びに小布施町の行政視察を行いました。篠田議長をはじめ議員10名と事務局の総勢11名で、活性化対策として進めている特色ある取り組み事例を視察研修して参りました。



おやき村からの眺め

小川村は、長野県の北部、長野市と白馬村のほぼ中間に位置し、村内各所から雄大な

2日目は、小布施町の小布施まちづくり委員会の視察を行いました。人口約11,000、世帯数3,700程の町で、古くから栗の産地として名を馳せ、「りんご」、「ぶどう」、もも等の果樹の栽培が盛んな町です。



小布施まちづくり委員会は、「住民の声が行政や議会に届きにくい」、「行政、議会の情報が住民にうまく伝わらない」といった声に対し、これらの課題を解決する協働の仕組みの一つとして、平成20年に発足しました。町民同士、あるいは町民・議会・行政が交流と対話を深めて信頼関係を築

付加価値づくりと、女性や高齢者の働く場所ができる。」とかつての青年たちは夢を描いたそうです。



おやき村の作業場

「小川の庄」は昭和61年に信州西山農協が「ふるさと田舎事業」の指定を受け、その一環として漬物生産を引き受けることから始まり、30周年を迎えようとしています。説明をしてくれた監査役の方が成功した理由をいくつか挙げられて、「地元でできる農産物をみんなで工夫して磨いたこと。」「高齢者が生きがいをもって、活躍できる場所がつ



小川の庄 おやき村

くれたこと。」「青年たちが団結し勇気をもって立ち上がったこと。」「販路拡大に向けて地道な努力を根気よく続けたこと。」「情熱をもって先導してくれたリーダーがいたこと。」「と熱っぽく語られておりました。小川の庄は、自社内や契約農家による農作物生産の「第1次産業」から、おやき、漬物、味噌、惣菜などの加工を行う「第2次産業」、そしてそれらの製品を直営店舗や全国で、さらに海外で販売展開を行うまでの果敢な挑戦を続けています。



小布施まちづくり委員会概要説明

き、合意形成と課題解決を図るための誰にでも開かれた組織です。例えば、「地域の安全・防災対策」、「家庭でできる生ごみの減量化」、「子育て」などの身近な課題から、「公共施設の有効活用」、「自然エネルギーの利用」といった専門的なものまで、その時々々の課題をみんなで出し合い、行政に提案していきます。また、行政から意見を求められたときも、みんなで話し合い意見を集約するなど、実現可能な提言とその実践に向けて取り組んでいます。

この委員会は、まちづくりに参画しようとする16歳以上のの人なら誰でも委員になれ、現在70名ほどの人たちが各テーマごとの部会をつくり、ワークショップや学習会などを通じて、楽しみながらまちづくりを考えているとのこと。

40年前から独自のまちづくりを推進し、今年年間120万人が訪れ、まちづくりのお手本として全国から注目されるまでに成長した小布施町。最後に、大島議長さんが「**観光のまちにはしたくない。交流の場にしたいたいと思ってる。**」と言っておられたことが印象的でありました。

今回、視察しました二つの町村は、いずれも人口減少対策や地域活性化に真正面から取り組んでいる自治体でありましたが、どこかのまちの真

似をするのではなく、先人から受け継がれてきたものを大切に、住民と行政が一体となつて創意工夫を凝らしながら時間をかけて築き上げられたものであり、感心させられることの多い充実した研修となりました。この視察を踏まえて、もう一度我が町の基幹産業を見つめ直し、町の活性化及び地域振興に向けて努力してまいる所存であります。



小布施町役場前にて

平成27年第3回（9月）定例会一般質問

質問日	番号	氏名	質問事項
9月10日	1	牧山 龍雄 議員	・町の災害記録とその有効活用について ・庁舎の耐震対策と建替えについて
〃	2	野澤 良治 議員	・土地埋立て等条例について
〃	3	星野 初英 議員	・子育て支援対策について ・空き家対策について ・動物愛護について

・一般質問は、午前10時頃から始まる予定です。
・質問時間は、質問・答弁あわせて一人60分以内です。

議会を傍聴してみませんか

議会はどなたでも傍聴することができます。
定例会は原則、3・6・9・12月に開催されます。
第3回定例会は9月3日(木)から9月10日(木)までです。
(決算委員会9月3日・4日)
詳しくは議会事務局までお問い合わせ下さい。
TEL 0297-84-2111 (内線) 201



お知らせ

「かわち 議会だより」は本会議で行われた内容を要約してお知らせしております。
詳しくは河内町議会会議録をご覧ください。議会会議録は、河内町のホームページからご覧いただけます。
また、会期の日程や一般質問事項表、議案目録等も詳しくご覧いただけます。

URL <http://www.town.ibaraki-kawachi.lg.jp/gikai/index.html>



河内町イメージキャラクター
かわち丸

◆ 議会議長及び議員の主な動向 ◆

平成27年6月から平成27年8月

6月4日	平成27年第2回議会定例会本会議初日	23日	航空機騒音公害対策協議会
7日	手をつなぐ育成会定期総会		首都圏中央連絡道路建設促進協議会総会
10日	平成27年第1回議会定例会本会議最終日		水道運営審議会
23日	学校給食運営委員会	30日	新利根川沿岸土地改良促進協議会総会
25日	遺族会総会		
	県南町村会総会	8月3日	町教育研究会発表会
			社会福祉協議会理事会
7月1日	県南町村議長会		県南町村議長会
2日	竜ヶ崎地区防犯協会理事会・評議員会	4日	町文化協会理事会・総会
3日	牛久沼運営協議会	11日	町敬老福祉大会実行委員会
14日	霞ヶ浦常南流域下水道整備促進協議会総会	19日	町村会・議長会合同定例会
16～18日	行政視察研修	20日	利根川乗船体験
21日	竜ヶ崎管内主要道路整備促進期成同盟会総会	26日	介護保険運営協議会
22日	稲敷郡・龍ヶ崎市・牛久市・稲敷市社会教育委員連絡協議会総会	27日	議会運営委員会

〈広報委員会〉 委員長 牧山 龍雄 副委員長 廣瀬 裕
委員 野澤 良治 委員 雑賀 茂